

最新の教育課題を幅広く扱い、専門家の方々からお話を伺います。
すべてオンライン開催で、県外の方も参加可能です。
同一日に二つの回を設定しました。
各日程の申込みフォームから、登録すると二つの回に参加できます（一つだけの参加も可）。

2025年1月25日（土）

第1回

新聞を活用する授業をどうつくるか —探究的な学びのためのNIE—

13：00～
14：40

講師：池田 泰弘 氏（弘前大学）

NIE (Newspaper in Education) とは学校において新聞を活用する教育です。膨大な情報が自由に交錯する現代社会では、情報を取捨選択し、読み解く情報活用能力が必要です。学習指導要領では新聞が教材・教具として位置づけられていますが、タブレット端末の導入とともに改めてその意義が問われています。新聞のよさを授業でどのように取り入れ、子どもたちの資質・能力を育てていくのかについて、具体的に考えていきましょう。

第2回

多文化多言語の子どもとともに学びの場をつくる

15：00～
16：40

講師：吉田 美穂 氏（弘前大学）

文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」では、日本語指導が必要な子どもは約10年間で1.9倍に増加しています。これまで受け入れた経験がほとんどなかった地域や学校にも、多文化多言語を生きる子どもたちと共に学ぶ時代がやってきます。多文化多言語の子どもたちのことばの力を伸ばすために、そして多様性が尊重され、違いから学ぶ教室を創っていくために、何が必要か一緒に考えていきましょう。

2025年2月8日（土）

第3回

性の多様性をめぐる学校教育の課題

13：00～
14：40

講師：渡辺 大輔 氏（埼玉大学）

学校は多様なジェンダーやセクシュアリティの子どもたち、教職員（および保護者、地域の人々）で構成されています。現在、私たちの性の多様性を前提とした学校や教育が求められています。性の多様性とは何か、子どもたちに性の多様性をどのように教えたらいいのか、性の多様性をめぐるいじめや差別の状況、LGBTQの子どもたちへの個別的な配慮・支援について説明します。その上でみなさんの学校や教育を見つめ直してみましょう。

第4回

「部活動の地域移行」という病 —行きづまる原因と部活動学の処方箋—

15：00～
16：40

講師：神谷 拓 氏（関西大学）

「国から部活動の地域移行の方針が示されているものの、私の学校・地域では上手くいかないんです…」全国からこのような悩みが、私のもとに届いています。全国的に同じような悩みが生じているということは部活動の地域移行の政策に、本質的な問題や課題があると考えられます。今回のセミナーでは、その原因を国際的な視点、歴史的な視点、政策的な視点から示したいと思います。そのうえで、「学校と地域で子どもを育てる」という視点に立って、部活動学の立場から処方箋を示したいと思います。

[申込み]
参加を希望する日の申込みフォーム（右）から参加登録をお願いします。

[問合せ]
NITS弘前大学センター
TEL：0172-39-3333 Email：nits-hirosaki@hirosaki-u.ac.jp
[主催] NITS弘前大学センター [共催] 青森県教育委員会

1月25日（土）



<https://forms.office.com/r/7M1GiDe7fs>
申込締切 1月20日（月）

2月8日（土）



<https://forms.office.com/r/jDQYV7XeVw>
申込締切 2月3日（月）